

平成17年9月30日

第 4 号

禪文化

洞上墨蹟

一教中



大本山永平寺

歷代禪師(五十世)墨蹟

特集



五多諸佛

諸公不月

永平寺通也

目次

墨蹟を慕う……………	会長 田中 一義	1
第四回「結集」管見……………	堀口 慶哉	2
第四回結集参加者名簿……………		10
〈特集〉		
大本山永平寺歴代禪師(五十世)墨蹟……………		11
高龍寺の墨蹟……………	清水 琢道	72
大本山永平寺 宝物館「瑠璃聖宝閣」……………	高山 幸典	92
西有穆山禪師展より……………	伊藤 勝司	96
祖山拝登及び越前古刹紀行……………	清水 琢道	101
「東雲文庫雨宝室より」②……………	坪内 秀元	104
吉丈足雲禪師書「爲君幾下蒼龍窟」……………	塚本 誠	106
春臺夢覺の記……………	熊野 山人	110
観硯会縁起……………	高野 一伸	113
ルンビニへ誕生佛と私……………	齋藤 筍堂	115
「禅文化との出会い」……………	鈴木 潔州	119
古玩行脚 其の三(長野)……………	吉岡 博道	125
方丈拝見③ 長泰寺(東京)……………	鈴木 潔州	129
秘蔵の一品④ 新井石禪師三行書……………	葦澤 義文	137
書画屋探訪④ 東京・京都……………	田中 一義	140
禅僧筆痕物語④ 海峽東流和尚……………	小林 將	142
玉 走 盤……………		144
会員著書紹介・本会推薦書籍……………		146
第六回結集 栽松院拝登について……………		147
会員名簿……………		162
会員募集・活波瀾……………		167
禅文化情報		
大本山永平寺聖宝閣……………		105
大本山總持寺宝物殿……………		112
駒澤大学禅文化歴史博物館……………		148
大乘寺東隆真老師「山宇亭」命名……………		150
父幼老卵大和尚顕彰事業……………		152
福井龍泉寺「戒壇巡りと寺宝展」……………		160
長野西福寺「寺宝展」……………		161
広島雙照院「寺宝展」……………		161
根津美術館「墨蹟と中世漢画」……………		114

墨蹟を慕う

会長

田中一義



一昨年、我々志を同じくする者が集い「禅文化洞上墨蹟研究会」を結成し、遺された芳墨の中に伺うことの出来る筆者の境涯を慕い、励んで行こうとの趣旨のもと、結集した同志の集いが、当初の約五倍、一六〇人の会員になったと承って、嬉しく思います。

書には上手、下手の区別はなく、良い書とあまり賛成の出来ない書との区別があると存じます。

写真の一字「茶」は無得良悟禅師の書です。堂々たる禅僧の書と拝見いたします。

以下、この書に就いての所感を述べます。

この書には作意を伺うことがない、無作意の筆の痕が迫ってきます。字には横に走る線、縦に走る線、その他斜めに走る線等がありますが、筆者が渾身の気概を以って筆を走らせたとき、本当に書が生れると思います。技巧は必要なく、只、無心に走る筆痕に始めて、筆者の境涯を伺うことが出来るものと存じます。

第一筆、斜めに点を打ち、そして横の線を書き、更に、斜め下方に向けて一気に筆が走り、反転して右に走り、あとは技巧なし、只、気概だけで「ホ」を書いて終って居ります。

余すところなく、赤裸々に無得良悟禅師の境界を伺うことの出来るこの筆痕を、尊いものとして拝する次第です。



禪文化洞上墨蹟研究会